

## 第2回名寄市総合計画策定審議会専門部会 (産業経済部会)

・日時 平成23年4月21日(木) 18:30~

・場所 市役所風連庁舎3階 大会議室

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 事務局紹介

### 4 議 題

#### (1) 名寄市総合計画前期計画の点検について

##### 【主要施策】

#### IV 創造力と活力にあふれたまちづくり

- 1 農業・農村の振興
- 2 林業の振興
- 3 商業の振興
- 4 工業の振興
- 5 雇用の安定
- 6 観光の振興

#### I 市民と行政との協働によるまちづくり

- 5 交流活動の推進

### 5 その他

### 6 閉 会

別添 産業経済部会発言内容（平成 23 年 4 月 21 日）

— 進行 高橋農務課長 —

- 1 開会 高橋農務課長
- 2 あいさつ 寺崎経済部長あいさつ及び職員紹介  
向井部会長あいさつ
- 3 事務局紹介

— 以降、向井部会長により進行 —

#### 4 議題

##### （１）名寄市総合計画前期計画の点検について

点検シートに基づき一括説明の後、前期計画の点検及び後期計画の考え方について検討を行った。

（質疑応答）

委員：点検シートは、前期計画の取組状況及び成果と課題、後期計画の考え方で構成されていますので、まず、前期計画の取組状況及び成果と課題について質問意見等をお願いします。

寺崎部長：話題提供ですが、農業の基盤整備事業については、農家の負担軽減を図るため、パワーアップ事業を実施しています。道が実施するパワーアップ事業は平成 18 年度から 22 年度までとされていましたが、平成 23 年度以降新たに 5 年間の継続が決定され、道、市の補助により農家の負担軽減が図られています。

委員：現在実施している名寄東地区、弥生地区の 2 地区の事業期間を説明願います。

山本課長：名寄東地区は平成 26 年度までを予定。弥生地区のストックマネージメント事業については平成 24 年度までを予定しています。その他、ため池等整備事業（クラヌマ排水地区）を計画しています。

寺崎部長：基盤整備には農家負担が伴うため、地域でまとまり事業実施に至れば、市も支援を行いたいと考えています。

委員：パワーアップ事業で農家負担が軽減されることは望ましい。

委員：商業の振興で、中心市街地活性化基本計画が国の認定を受けられなかった理由を説明願います。

真鍋課長：現在は、都市再生整備計画を策定して、まちづくり交付金を活用した駅横を含めた中心市街地の整備に取り組んでいます。ご質問の内容については、次回の会議でお答えしたい。

寺崎部長：取り組もうとする事業内容により、国のどの事業に該当するかで、活用する事業は変わってきます。

寺崎部長：話題提供ですが、グリーンツーリズム推進事業で修学旅行生などの受入を行っている。昨年度は、日帰りですが、札幌から中学生約 200 人の農業体験を受け入れています。市立大学の学生にも農業体験にご協力を頂いています。

委員：観光の振興で、ひまわり観光は具体的にどういう方向性で進めようとしているのか。これまでのシストセンチュウの問題、あるいは、分散しているほ場をまとめ観光スポットするなどの課題もあると思います。

湯浅室長：当面、星守る犬の映画をきっかけとして名寄を売り込みたい。今年はひまわりプロジェクトとして種子の配布など行い進めていく。ひまわり油の関係では、作付面積は35haとなっている。将来的に一箇所にまとめるかなどについては、今後検討していきたい。

委員：文台を利用しようとしたのですが、月・火休館だった。冬期間はやむを得ないとしても、週休2日は行きたいときに行けない、観光資源として如何なものでしょうか。改善の考えはあるのでしょうか。

湯浅室長：直接の所管ではありませんが、月・火の週休2日制で運営している。前回の議会でも質問が出されており、「今後検討する」と教育長から答弁させて頂いている。夏期無休となるかは分からないが、この連休中については、グランドオープンとしてチラシを配布させて頂いたが、10日間休みなしで運営するなど、少しずつですが改善しています。

高橋課長：北国博物館は、土・日開館で月曜日だけの休館としています。このような事例もあるので、今後、教育委員会で検討されることとなります。委員が言われるように、せっかくひまわりを見て天文台に行こうとしても閉館では見る事ができないこととなります。

委員：震災に伴い、名寄市で住宅を用意しているようですが、相談等はあるのですか。

寺崎部長：具体的に移住するという話は聞いていないが、市として住宅の確保を行っています。

高橋課長：教員住宅16戸、道営住宅6戸合わせて22戸のほか、市営住宅もあります。これらの受入体制については道へ報告しています。教育委員会で相談を受けたことはあります。

寺崎部長：市としては、道に登録して、具体的に移住の要請があれば受け入れる体制となっています。また、農家の方で営農を継続できずに移住を希望される方がおられれば、受け入れたい。

委員：JAも市と協議している。杉並区との関係で要請があればと考えている。

高橋課長：杉並区と南相馬市が災害協定を結んでおり、この関係で要請があればという話を聞いています。

委員：住宅のリフォーム助成は零細企業への下支えとなり、経済効果もあったと考えています。事業は終了しているが継続されると良いと思う。また、農業に地産地消の考えがあるように、工業においても地元で企業を使い、育てるという考えがあれば、企業も雇用も流出しないと思います。商業関係では、利子補給も良いのですが、店舗の改修などにももう少し手厚い支援策があると良いと考えます。

湯浅室長：住宅リフォームは、昨年度で終了しています。内部での様々な検討のほか、建設業など関係者とも協議を行ってきた経過があります。今後も関係者と協議をさせていただきたい。商工業の支援については、中小企業振興条例の関係になると思いますが、中小企業振興全体の枠の中で検討させて頂きたい。

委員：次に、後期計画の考え方について意見等を頂きたいと思います。

委員：交流活動の推進で、なよろを売り込む情報発信を行うとありますが、具体的な方法について考えを伺いたい。

湯浅次長：点検シートに記載しているように平成23年度に観光振興計画を策定します。この計画の中で何を、どのような方法で売り込むのかなど観光振興のための計画で、戦略室の今年の課題でもあります。現段階では、具体的な内容はお答えできませんが、市民の皆さんに納得いただける計画にしたいと考えています。

委員：礼状を書く時になよろの絵葉書が探せない。以前は、智恵文のひまわり畑にひまわりの絵葉

書があったほか、サンピラーとひまわりがセットになった絵葉書もあった。しかし、現在は、見かけなくなっている。市民が買い求められる場所がつかれると楽しく、嬉しい。

委員：観光振興計画の中で意見やアイデアを活かした、より良い計画をつくって頂きたい。

湯浅次長：今後も機会がある毎に提言をお願いします。なお、今回は、総合計画と観光振興計画を並行して進める必要があり、具体的な取り組みを年度毎に示すことに難しい部分があるかと思いますが、両計画の整合性を図っていきたい。

委員：後期計画は平成24年度から5ヶ年の計画ですが、3月11日に震災が起き、公共のお金が東日本に集中することが予想される中で、その影響をどのように考慮して策定していくのか考えがあれば説明を願いたい。また、その影響が波及する項目が本専門部会では多岐にわたると思う。例えば、雇用の安定では、復興需要による冬期出稼ぎが増え人材の流出が考えられる。工業の振興では、企業立地とあるが東京なり関西の資本が東北を乗り越えて北海道へという流れが起こりうるのか、考えがあればお聞かせ願いたい。

委員：同じように震災の影響に不安に思っている。ただ、震災の影響によって名寄市のスタイルを大きく変えることがあってはならないと思う。私の意見は異なるのですが、結論は同じ所にたどり着くのかもしれない。しかし、震災に左右される計画ではなく、名寄市としての考えを持っていけば、震災の影響はあまり考慮しなくても良いと思います。

委員：質問の趣旨は、震災の影響を考慮するのか否かということをお伺いしたいということです。

寺崎部長：震災を考慮して変わる部分はないと考えています。総合計画は、市民と行政が協働のもとに共通の課題認識と目標を持つということが前提です。ただし、震災の影響により事業費が計画より減となることとはありえると考えています。

臼田主査：震災の影響については、各所管で分かる範囲で盛り込まれると考えていますが、見えないというのが現実ですので、5年後の実績が計画と乖離する可能性については理解を頂きたい。次に計画の構成ですが基本構想は10年の構想として走っている部分、現在検討頂いている5年の基本計画は先ほど言われた部分、施策に当たり、事業費というよりは目指すところとなります。先ほど委員から言われる計画どおり事業が進められるのかということですが、これは実施計画に当たる部分で、毎年向こう3ヶ年の事業計画を見直すローリングを実施し、国の状況に対応してまいりますのでご理解願います。

委員：他になければ、前期の点検を終わらせて頂き、その他に移りたいと思います。

寺崎部長：本日、前期の点検を頂きました。今後、5月の中旬頃に後期計画の検討をお願いすることとなります。その際、農業と商工業に分けてご検討を頂いてはどうかと考えていますが、如何でしょうか。

委員：部会は全員集まってとなるのですが、その過程で分かれて意見集約することも一つの方法かと思っております。

寺崎部長：それでは、そのような方法で進めさせていただきたいと思います。また、6月中旬以降には後期計画の事業についても検討頂きたいと考えていますので、ご協力をお願い致します。

高橋課長：後期計画の検討においては、前期計画と対比したシートを資料として事前にお送りさせて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願致します。

委員：皆さんから特になければ、これで第2回の部会を終わります、最後に寺島副部長あいさつをお願いします。

寺島副部長：あいさつ